令和７年度　第１回平取町総合教育会議

と　き　令和７年８月１９日
ところ　中央公民館　２階　団体活動室

１．開会

２．挨拶
- ▸ 町　長　　遠　藤　桂　一
- ▸ 教育長　　松　田　拓　美

３．会議事項
（１）協議及び調整事項
① 令和７年度　教育委員会の課題に対する取組と今後について　　資料１

（２）報告事項
① 令和６年度　町の決算状況について　　資料２　※当日配布

（３）その他
① 次回　総合教育会議の開催について

② その他

４．閉会

資料１

令和７年度　教育委員会の課題に対する取組と今後　（R7.7現在）

１．町内小中学校課題

⑴　学習・学力に関わって

①校内研修を主とした若年層教師の育成

教科指導（ICT活用)、学級経営・保護者　対応

②GIGAスクール推進

・ICT委員会　情報共有と課題の整理

・PCの入替　OS：chrombook　Google classroom　**【資料１】**

・ミライシード　**【資料２】**

→　授業（振り返り)・自宅での活用（家庭学習）　等

教師のICTスキルの向上（意識改革）

③町研究体制の検討委員会の設立　R8に向けて

④アイヌ文化学習の充実　系統性を持たせた授業　**【資料３】**

⑵　生徒指導に関わって

重要課題　**【資料４】**

「いじめ、不登校」「発達障害（LD、ADHD、ASD)、精神疾患、グレーゾーン」「LGBTQ」など様々な援助を必要とする児童生徒への対応　（20%）

・和田理一（スクールカウンセラー）　認定心理士

・高杉かなえ（スクールソーシャルワーカー）　臨床心理士

・和田与志男（スクールカウンセラー）　家庭生活カウンセラー

→　カウンセリング（児童生徒、保護者)、教師への支援、校内ケース会議

コンサルテーション（関係機関)、エンカウンター（人間関係づくり）等

→　多種多様な児童生徒に対する支援、教師のスキル向上。

２．学校環境

⑴　暑さ対策

①ソフト：野外運動制限、水筒、夏休み延長（＋2　27日)、臨時休校

②ハード：WBGT測定器、各教室エアコン設置

⑵　暖房の設置

R6　貫気別小、平取中　R7　平取小　R8、9　取替終了

３．振内中学校に関わって

令和４年　教育委員会より統合計画　保護者・住民の反対

令和５年　これからの学校を考える会（ゼロスタート)**【資料５】**

（保護者・地域住民・生徒を対象としたワークショップ）

令和６年　保護者・住民アンケート実施　保・小・中・地域単位の協議

令和７年　三者PTA代表役員会　「統合は時期尚早」

４地区自治会長との協議　「役員会の意見を尊重する」

４．平取高校存続・地元生徒を確保するための方策

⑴　進学支援とキャリア教育の充実
　　北翔大学、北海道科学大学・札幌大学（予定）　包括連携協定
⑵　生徒の個別ニーズの対応
　①中学生の通塾状況の改善
　②高校生の学び直し
　③教育委員会・塾・高校との情報共有とカウンセリング機能の充実
⑶　フォーラム　**【資料６】**
⑷　広報活動　日高管内中学校　８月～
⑸　青少年国際交流事業ハワイ研修　**【資料７】**
⑹　特別な支援を必要とする生徒に対して
　　山田　潮　氏（北翔大学准教授）学校心理士の派遣（週１回）

５．部活動地域移行（展開）に関わって

令和５年　「検討委員会立ち上げ」
令和６年
　９月　住民説明会の実施　９月予定　保護者・住民理解と協力
　１０月　事務局の立ち上げ
　１１月～各種競技移行準備
　　部活動指導員、外部指導者の登録
令和７年
　２月　　平取町・日高町　合同協議会の開催　（連携の確認）**【資料８】**
　４月　　平取中学校を拠点校
　　日高西部富川ベースボールクラブ　設立
　８月～　平取町地域移行クラブの立ち上げ、予算確保（日高町）
　　競技クラブの立ち上げ（随時）　指導者・協力者の発掘

６．文化財関係

５月　全国文化的景観連絡協議会　役員会・理事会・総会
　　宇治市にて、ハイブリット開催　事務局を移行
６月　旧マンロー邸の改修　北海道大学との協議開始
８月　重要文化的景観４次選定　文化庁へ同意書等提出

７．その他

Chromebook・classroom とは

1. 動作が速い
2. Google サービスとの連携が抜群
   Gmail、Google ドライブ、Google カレンダーなどとシームレスに連携。Google アカウントでログインすると、ブックマーク・履歴・パスワードなどがどの端末でも同期される。
3. セキュリティ対策が強い
   自動アップデートにより常に最新のセキュリティ状態を保てる。

短所
1. メモリ（RAM）の使用量が多い
2. バッテリー消費が大きい
3. プライバシーへの懸念
   Google のサービスと深く連携しているため、利用者の行動データが収集されやすいという声がある。

Google Classroom でできること（主な機能）

1. 課題の配布・回収・採点
・宿題やレポート、クイズなどを作成して配布できる
・生徒が提出した課題を確認・コメント・採点できる
・締切日時を設定可能。提出状況も一目で確認できる

2. 授業の連絡・掲示板機能
・教師は「ストリーム」に投稿して、連絡事項やお知らせを共有可能
・コメント欄を開けば、生徒と簡単なやりとりもできる

3. 資料の共有
・Google ドキュメント、スライド、スプレッドシート、PDF、動画などを配布可能

4. Google サービスと連携
・Google ドライブ：課題や提出物が自動保存される
・Google Meet：オンライン授業のリンクを作成して貼り付けられる
・Google カレンダー：締切や授業の予定が自動反映される

5. クラス管理（出席・グループ）

6. 保護者への通知機能
・保護者用に通知メールを送信する設定ができる（週や日単位で、課題未提出などを通知）

【利用場面の例】
・学校での通常授業、オンライン授業のどちらにも対応
・家庭学習の指示・提出物の回収
・テストや小テストの自動採点（Google フォームとの連携）
・授業プリントのデジタル配布
・複数クラスや学年をまとめて運用

「ミライシード」

ベネッセコーポレーションが開発・提供する小中学校向けのタブレット活用型教育プラットフォーム（オールインワン学習支援ソフト） です。

＜主な特徴＞

1. 個別最適化 × 協働学習を統合した授業支援

・オクリンクプラス：児童生徒が自分の意見をまとめて発表し、クラス全体で共有・編集できる協働学習アプリ。個別学習と意見交流をリアルタイムで行えるよう統合されている。

・ドリルパーク：AI による個別最適化ドリルで、基礎～思考力育成まで幅広く対応。間違いに応じた出題で、効率よく学習でき、先生の丸つけ負担を軽減できます

・その他アプリ：「テストパーク」など、小テストの実施をサポートする機能も 2024 年以降導入が進んでいます

2. 教育効果の可視化とデータ活用

→　子ども一人ひとりの学習データを集約し、学びの定着度や理解度を可視化。先生がファクト（事実）に基づいた指導改善に活用できます。

3. 現場密着のサービス体制

ICT 支援員（ICT サポーター）が学校に訪問し、教育現場での授業設計や機能活用を支援。現場のニーズを吸い上げ、継続的な改善を重視しています

4. 圧倒的導入実績

2024 年時点で全国約 30%にあたる 9,000 校超、334 万人以上が利用するほどの規模です。

＜活用できる場面＞

・授業内での意見共有や共同編集による対話的な学び
・放課後や家庭での基礎固めの AI ドリル学習
・小テスト（CBT 形式）によるリアルタイムな理解チェックとフィードバック
・日々の学習記録や評価をもとにした教師の個別対応やフォロー

「平取町アイヌ文化学習全体計画」

学年	単元	タイトル	学習内容	単元で探究する発問	成果物	目標達成レベル	時間	関連教科	地域リソース	備考
小1	アイヌ文化に関心を持つ	カルタ等でアイヌ語を知ろう	カルタ遊びなどでアイヌ語を知る	普段使っている言葉とは違う、アイヌ語とはなんだろう？	クラスの中や家で、覚えた言葉を紹介する	アイヌ文化、アイヌ語を楽しいものだと感じ、肯定的な気もちを持つ	8+2	国語:	・アイヌ文化学習係	
小2	アイヌ文化を体験する	アイヌの遊び、歌を体験しよう	昔のアイヌの遊び(弓矢・輪投げ等)アイヌ語の歌の体験をする	アイヌの遊びをやると、どんなことが上手になるんだろうか？	アイヌの遊びに付いて説明を試みる。覚えた歌を発表する。	アイヌの遊びを通して道具を上手く使えるようになる。歌の発表を通して発表する機会を好きになる	8+2	体育: 音楽:	・アイヌ文化学習係 ・アイヌ文化環境保全調査係 ・アイヌ文化活動アドバイザー(平取アイヌ文化保存会)	
小3	アイヌの道具作りに挑戦する	アイヌの道具を知ろう	アイヌの道具(かんじき、弓矢、カエカブレスレット等)の作成に挑戦する	どのような工夫を行えば生活で必要な道具を作れるんだろうか？	かんじき、弓矢。カエカブレスレット等	自然素材から生活に必要な道具を工夫しながら作り、その後、実際に使用してみる	8+2	図工: 体育:	・アイヌ文化学習係 ・アイヌ文化環境保全調査係 ・平取町アイヌ文化振興公社 ・アイヌ文化活動アドバイザー(平取アイヌ文化保存会)	
小4	アイヌの農耕と食文化を学ぶ	アイヌの農耕、食を体験しよう	イナキビ栽培、収穫、シト作り	・農作物はどのような仕事をやって作るのだろうか？ ・料理はどうやって出来るのだろうか？	・収穫したイナキビ ・料理し試食する、シト(イナキビの団子)	作物を1から作り上げる大変さを知り、食べ物に感謝する心を育む	8+2	総合: 社会: 家庭科:	・アイヌ文化学習係 ・アイヌ文化環境保全調査係 ・平取町アイヌ文化振興公社 ・アイヌ文化活動アドバイザー(平取アイヌ文化保存会)	
小5	アイヌの漁労と食文化を学ぶ	アイヌの漁労、食を体験しよう	・マレク漁、オハウ料理体験 ・アイヌの考え方を知るための事前授業	・魚はどうやって獲ることが出来るだろうか？ ・生き物を殺して食べることについて、どのように考えればいいだろうか？	学んだアイヌの考え方を元に、生き物を殺して食べることに付いて自分の考えを発表する	人間は自然界の1要素であり、他の多くの生き物によって生かされていることに気づく	8+2	総合: 道徳: 家庭科:	・アイヌ文化学習係 ・アイヌ文化環境保全調査係 ・平取町アイヌ文化振興公社 ・アイヌ文化活動アドバイザー(平取アイヌ文化保存会)	
小6	アイヌの工芸技術を学ぶ	アイヌの工芸を体験しよう	木彫り、刺繍体験、体験事前授業	美しいアイヌ模様が施されたアイヌ工芸品はどうやってつくるのだろうか？	木彫りコースター、刺繍コースター	アイヌ工芸品制作を行うことで、アイヌ文化をより身近に感じる	8+2	総合: 図工:	・アイヌ文化学習係 ・二風谷工芸組合	

学年	単元	タイトル	学習内容	単元で探究する発問	成果物	目標達成レベル	時間	関連教科	地域リソース	備考
中1	アイヌ精神文化を探求する	アイヌ文化を詳しく学ぼう	・博物館解説付き見学 ・講和 ・アイヌの精神世界を学べる本やビデオの鑑賞 ・アイヌ口承文芸の鑑賞	伝統的なアイヌの考え方の良いところは何だろうか？	学び、感じたことの発表	「持続可能性」など現在求められている考え方や行動をアイヌ文化から学び取り少しでも日々の生活で実践していく	8+2	総合: 道徳: 社会:	・アイヌ文化学習係 ・アイヌ文化環境保全調査係 ・平取町アイヌ文化振興公社 ・アイヌ文化活動アドバイザー （平取アイヌ文化保存会）	
中2	アイヌの歴史を探求する	アイヌの歴史を知ろう	同化政策、差別問題などについて考える	差別は現在も存在するのだろうか？　自分たちはどのようなことに気を付け行動していくべきだろうか？	学び、感じたことの発表 意見交換（ディスカッション）	出自や環境によって人を差別してはいけない、ということを認識し、その考えに基づいた行動がとれるようになる	8+2	総合: 道徳: 社会:	・アイヌ文化学習係 ・アイヌ文化環境保全調査係 ・平取町アイヌ文化振興公社 ・アイヌ文化活動アドバイザー （平取アイヌ文化保存会）	
中3	アイヌ文化を発信する	自分たちでアイヌ文化を発信しよう	アイヌ文化を発信している人たちの話を聞き、自分たちでも議論を重ね、自分たちなりの発信の方法を発表、実践する	アイヌ文化を郷土の財産を捉えどのような方法でPR、発信していけるだろうか？	・グループ或いは個人によるプレゼンテーション ・PR活動の実践	・町の発展、産業振興の面なども視野に入れたアイヌ文化PR活動を実践し、アイヌ文化にさらに親しみ、郷土愛を育む ・ディスカッション力、人を納得させるプレゼン力、計画を実践する行動力を育む	8+2	総合: 道徳: 社会:	・アイヌ文化学習係 ・アイヌ文化環境保全調査係 ・平取町アイヌ文化振興公社 ・アイヌ文化活動アドバイザー （平取アイヌ文化保存会）	

不登校生徒等に対応するための組織的な方策について

2025.4 校長・教頭会　配布資料

【不登校児童生徒の状況】
全国 35 万人　北海道 15,000 人　札幌市 6,000 人（不登校率 10%）　苫小牧市 637 人

【３段階の心理教育的援助サービス】
＜１次的援助サービス＞すべての子どもを対象
　学習スキル　～　わかりやすい授業づくり　対人スキル　～　構成的グループ・エンカウンター
＜２次的援助サービス＞　一部の子ども（登校渋り、学習意欲低下、孤立、生活の苦戦）
　問題を早期に発見　→　アセスメント　→　予防的な援助サービス　（保護者＋学校）
＜３次的援助サービス＞　特定の子ども（不登校、発達障害、いじめ、非行）
　チーム援助　教師＋SC・SSW＋保護者＋（関係機関）

【不登校パターン】
○家から出ることができない。（引きこもり）
○家から出ることはできるが、学校に入れない。（不登校）
○学校に入ることができるが、教室に入れない。（別室登校）

【不登校の原因として考えられるもの】
○家庭の環境の問題（変化）
・夫婦関係、親（母）子関係　　・子育て環境、自立、しつけ等　（愛着障害）
○学校環境
・コミュニケーションが苦手　　・勉強が苦手　・学校生活のスピードについていけない（中学校）
・いじり、からかい、いじめ　等
○発達障害
・学習障害（ＬＤ）、注意欠如・多動性障害（ＡＤＨＤ）、自閉スペクトラム（ＡＳＤ）等
○精神疾患
・場面緘黙・パニック症・不安症・うつ病・双極性障害・統合失調症　等

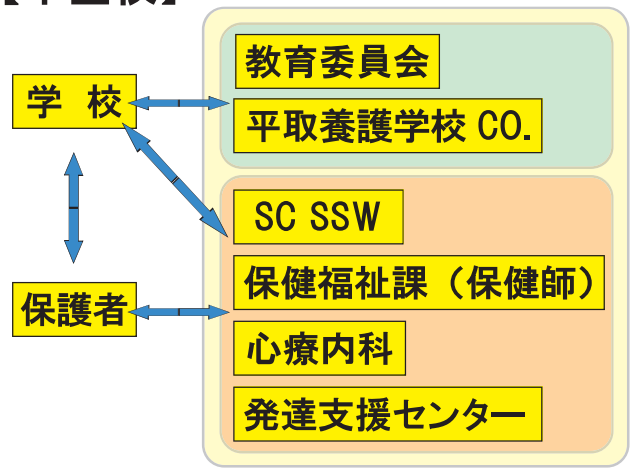
【援助すべき児童生徒】　緊急性がある児童生徒　　※グレーゾーンの児童生徒
「特別な援助を個別的に提供する必要のある特定の児童生徒」への対応

【取組課程】　　※別紙「関係機関との連携」
１．アセスメント（情報の収集と分析　等）　※本人・保護者・担任・友人等との面接
２．援助方針の決定し、援助案を決定（役割分担、期限の設定　等）
　児童生徒本人・保護者・教師・学校・教育委員会・平取養護コーディネーター・スクールカウンセラー・こども発達支援センター＜町民課＞、児童相談所・スクールソーシャルワーカー・心療内科医師（臨床心理士）等　　※専門知識と経験ある人材の必要性大
３．組織的な援助開始
４．状況の把握　ＰＤＣＡ

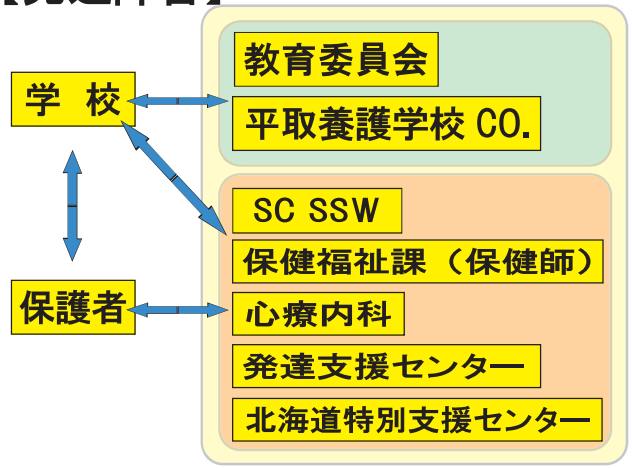
【日常的な取り組み】
・日常的な児童生徒の教育相談
・日常的な教師間の情報交流
・保護者との信頼関係づくり
・支援員会（生徒指導委員会）等の組織づくり
・専門的知識を持った人材や機関との関係づくり

特別な援助を個別的に提供する必要がある児童生徒への対応　関係機関との連携

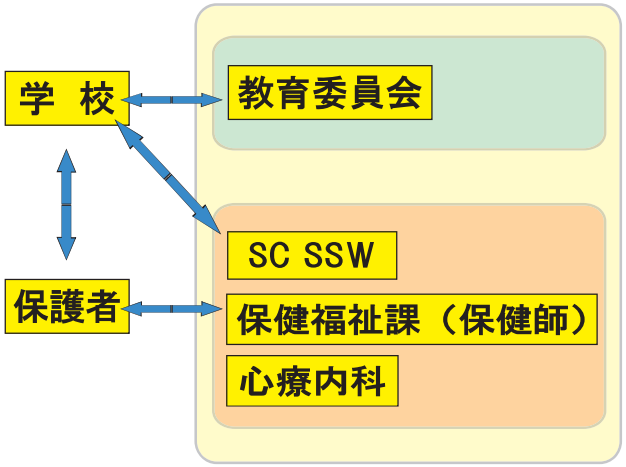
【不登校】



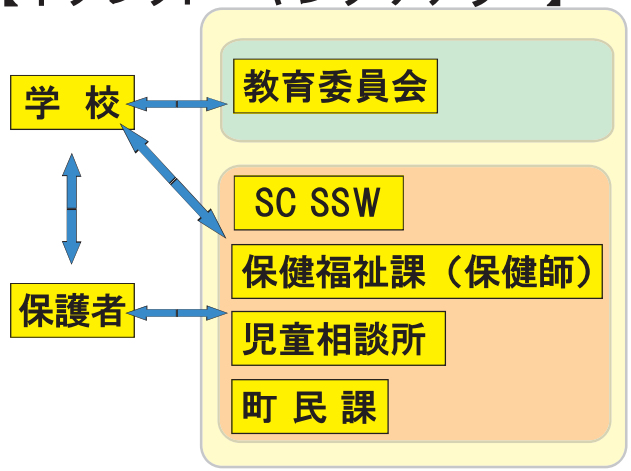
【発達障害】



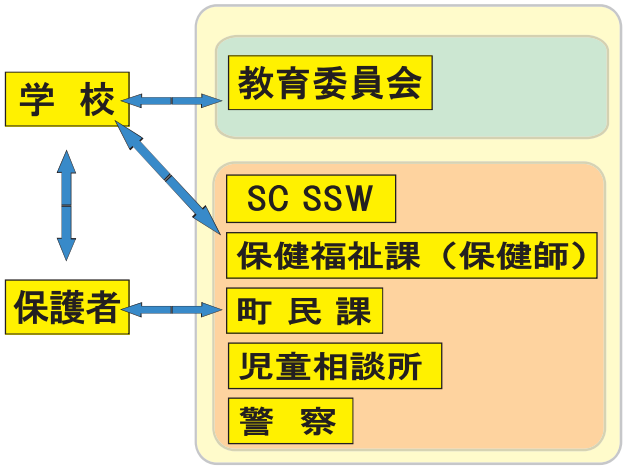
【精神疾患（双極性障害・統合失調症等】



【ネグレクト・ヤングケアラー】



【D V】



学　校：本人・保護者・環境アセスメント

教育委員会：連絡調整・協力支援

スクールカウンセラー：カウンセリング、観察（本人・保護者・教師）

平取養護学校 CO.：観察、分析、助言　等

保健福祉課：家庭訪問、保護者面談、情報提供

町民課：家庭訪問、保護者面談、情報提供

発達支援センター：観察、自立訓練、コミュニケーション訓練

心療内科（精神科）：検査、診断、カウンセリング、治療　等

北海道特別支援センター：教育相談、面談、検査　等

警察：保護、児童相談所との連携

振内中学校の今後に関わっての協議内容等　R5～R7　　**資料５**

令和５年

４月　５日～聞き取り
４月 12 日　保・小・中　PTA 会長との協議
４月 15 日　長知内・本町・岩知志・豊糠自治会との協議
４月 20 日　中学校 PTA 総会にて説明　　統合を白紙、協議する場を設けること伝える
５月 12 日　臨時会で状況と今後の予定を説明
５月 23 日　住民説明会　統合白紙、学校を考える会を開催、時間をかけて協議する
６月　　中学校複式校　丸瀬布中・椴法華中・浜中中　訪問、情報取得
７月 19 日　第１回「これからの学校を考える会開催」
８月 30 日　第２回「これからの学校を考える会開催」
10 月 18 日　第３回「これからの学校を考える会開催」
11 月 16 日　振内中学校生徒との交流　ワークショップ
11 月 29 日　第４回「これからの学校を考える会開催」

令和６年

１月 25 日　第５回「これからの学校を考える会開催」　協議のまとめと今後
２月～　　振内中学校区　全保護者・住民対象のアンケート実施
　　協議の内容と今後の振内中学校をどう考えるか？記述式で実施
　　アンケート結果：統合賛成（保護者７：３　地域６：４）
６月　　振内中学校複式学級としてスタート、再度小中保護者意識アンケート実施
８月　　令和９年統合計画案作成
10 月　　自治会長に計画案を提示し意見交換
10 月 24 日　保・小・中 PTA 役員会で計画案を説明、意見交換。
10 月 31 日　保護者対象の計画案説明会、意見交換　実施
11 月 19 日　保護者・地域住民計画案説明会、意見交換　実施
　　教育委員会計画案の提示と保・小・中学校で協議の要請

令和７年

１月～　　保・小・中で計画案について協議
１月 31 日　保育所 PTA で計画案説明
２月 18 日　小学校 PTA で計画案説明
４月　２日　保育所入所式で計画案説明
４月 28 日　振内の教育環境を考える会　中村氏との懇談
５月 27 日　少子化を考える会との懇談
５月 28 日　保・小・中 PTA 役員会　アンケート結果に基づいての協議

振内中学校の今後　PTA 役員合同（保育所・小学校・中学校）会議

R7.5.28　振内中

【参加者】

大森（保）・西畑（所長）・川上（小）・八田（小）・伊藤（小）・柏原（小校長）・
吉田（小教頭）・松澤（中）・太田（中）・冨田（中）・金沢（中）・矢口（中校長）・
永田（中教頭）　14 名
傍聴 3 名

【趣旨説明】

2 年間に渡り「振内中学校の今後」について意見交換を行ってきた。令和 6 年 12 月の全体説明で、教育委員会が作成した「R9 年統合計画案」を参考にして、保育所・小学校・中学校単位で協議して頂いた。

各校は 2 月～4 月に協議し PTA の判断でアンケートを行った結果を、教育委員会が報告を受けた。それぞれのアンケート結果を保護者の代表である PTA 役員で共有し、保・小・中としての方向性を明確にし、本町・長知内・岩知志・豊糠自治会長に提示し意見を頂き、振内中学校の今後を、最終的に判断する予定である。

【意見交換】

・今後、振内中学校へ進学する子どもの、保育所・小学校アンケート結果は、保育所（統合 57%　維持 43%）・小学校（統合 75%　維持 25%）　平均　統合 66%　維持 34%
・統合に否定的な意見の大部分は、通学に負担がかかる。地域の衰退が懸念される。
・通学は負担となるが、中学生になれば体力もつくし慣れる子も多いのでは。
・岩知志から通学する子は、7：00 前には家を出る必要がある。
・部活動の地域移行についても、現状では資金・人材など課題で不明確である。
・全国的に増加している不登校問題も振内でも例外ではなく統合した場合は不安。
・精神、体力的に不安定な子どもにとっての通学の負担は心配される。
・配慮が必要な子ども達は、少人数で家に近い場所で生活することが良いと考える。
・少人数であることで、子ども達の関係性や交流の範囲が狭くなる。人数の多い環境で生活することも必要である。
・現状の生徒数では多くの友人と接することはできないが、平取中学校との交流事業を行ってもらうことで視野や経験値が広がるのでは。子ども達が望めば、修学旅行も合同で行うことも良い。
・ふるさと留学などを行い、子どもを増やす施策も考える団体もある。
・過去のふるさと留学は多くの課題があったので、慎重に行うべき。現実的に移住してくる者が期待できるかは疑問である。
・貫気別地区を見ると、統合後に中学校がどのような形で使用されるのか不安である。
・令和 8，9 年度には複式が解消し、教員数も増える。
・統合賛成の方々の中にも、教員が増え中学校を存続してもらえるなら、まだ、統合しなくて

もいいと考えている人たちも多いのでは。
・特認校の制度も検討してみてもいいのでは。
・リモートでの交流も試してみてはどうか。
・義務教育学校や小中一貫は、全体人数は増えるが、学年の人数は変わらないので、適正ではない。

【保育所・小学校・中学校　PTA 合同役員会の結論】

◎令和 8・9 年には、複式学級が解消され教員数が増える。また、未だに多くの意見がある中で、統合すると結論付けるには時期尚早である。

〇生徒たちが望む、平取中学校との交流事業を充実させて欲しい。
〇拠点校方式や部活動の地域移行ついて、保護者の負担を軽減して欲しい。
〇配慮が必要な児童生徒や不登校児童生徒の、支援を継続させて欲しい。
〇子ども達が、安心して学習できる環境を維持して欲しい。
〇少子高齢化や人口減少等の影響で振内地区の衰退に関わる課題に対して、町として移住政策等の施策を積極的に行って欲しい。

【4 地区自治会との懇談から】

保護者の意見に同意。丁寧に時間をかけて協議してきたが、未だに様々な考えがある中での統合は混乱する可能性がある。

今後の動き
8 月　保育所、小中学校合同保護者説明会の実施
9 月　振内地区地域住民説明会を実施

みらいを考えるフォーラム

１．目　的
　地元中学校を卒業した平取高校生を招聘し、現在と夢などを語ってもらい、中学生（保護者、地域住民、教育関係者）が、自分たちのみらいを考える。

２，主　催
　平取町教育委員会　北海道平取高校（協力）

３．日　時
　８月　　日（水）

４．場　所
　平取中学校　体育館

５．参加対象
　平取中・振内中生徒（３年生)、保護者、地域住民、教育関係者　他

６．内　容
　高校生メッセージ、平取高校説明　等

７．当日の内容　（５H　開催）
　12:45　教育委員会・高校生　中学校集合　準備
　13:15　教育長　あいさつ、趣旨説明
　13:25　高校生からのメッセージ　４分×４人　「中学校、いま、そして未来」
　13:45　平取高校のプレゼン（教育長）
　14:00　質疑
　14:05　終了

７．当日までの役割分担
　・会場図　　【中学校・教育委員会】
　・高校３年生発表者選定　　【高校】
　・保護者案内　　【教育委員会・中学校】
　・生徒原稿依頼、内容確認　【高校・教育委員会】
　・進行　　【教育委員会】

８．当日の役割分担
　・会場準備　　【教育委員会、中学校】
　　椅子・机・マイク・プロジェクター　ＰＣ持込　等
　・受　　付　　【教育委員会】
　・高校プレゼン【教育委員会】
　・生徒対応　　【高　校】
　・片付け　　【教育委員会】

９．スケジュール
　７月　　期日、内容の決定【教育委員会・中学校・高校】
　８月下旬　　生徒原稿集約、チェック　【高校・教育委員会】
　９月上旬　　実施

【資料７】

2025年国際交流事業（案）　9月30日（火）～10月4日（土）　3泊5日

～異なる文化や価値観を理解し、共生・協働社会を探求する学習の機会とする。～

【引率：松田教育長、関根アイヌ文化学習担当者、三橋校長、１，２年生担任（川西、長根）、看護師（山田）】

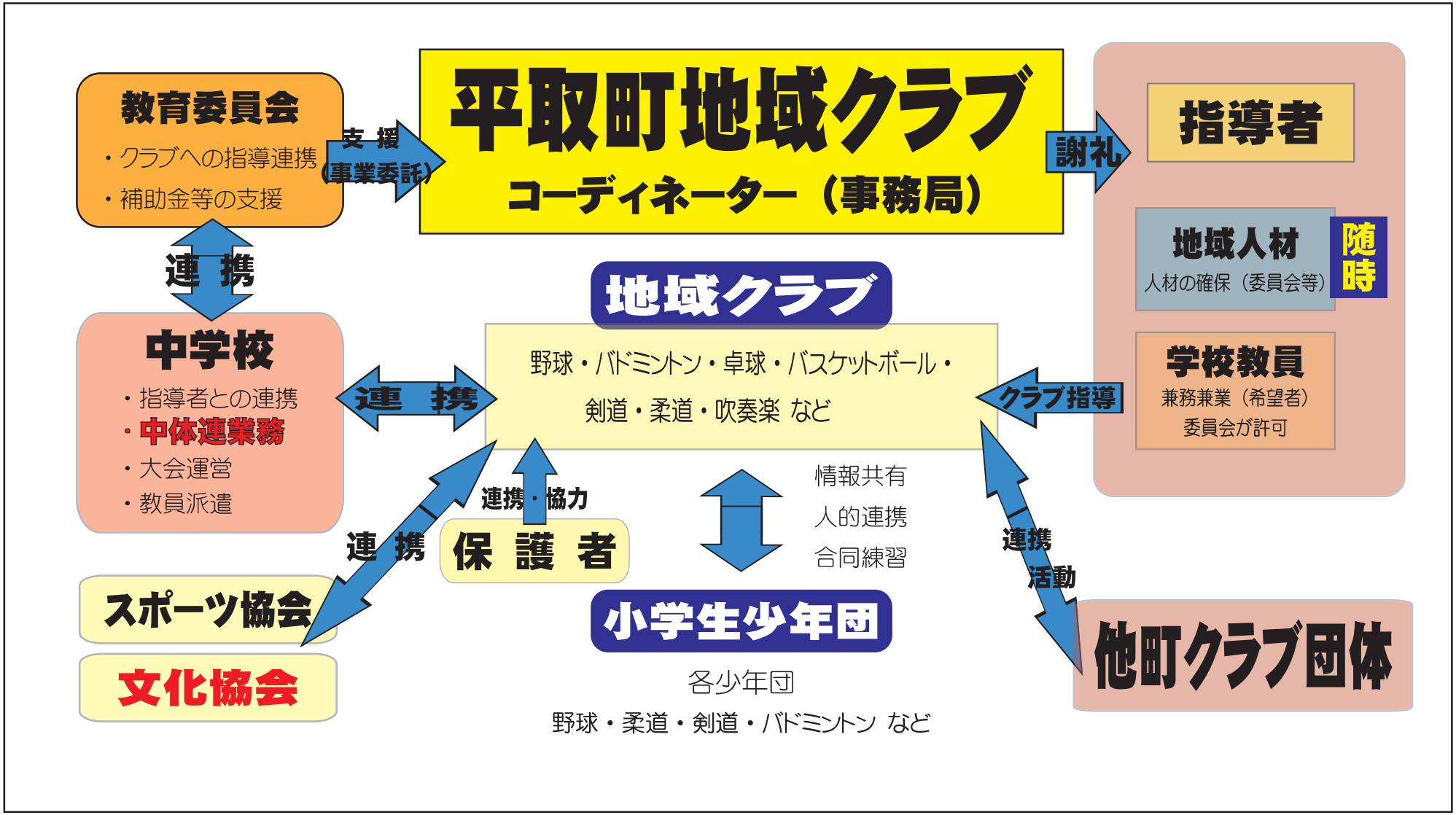
ハワイ	曜	日本	時間	移動	スケジュール	留意点	学習のねらい
9月29日	火	9月30日 火	11:15	町バス	出発		社会性 マナー 実体験 ルール
			12:15		千歳空港　着	同行添乗員	
			11:00		昼食：各グループ	日本旅行　風田さん	
			12:30		集合　チェックイン		
			13:40		新千歳空港　発		
			15:25		成田空港　着		
			16:00		出国手続		
					自由探索	軽食	
			20:10	ANA	成田空港　発		
					夕食：機内食		
9月30日		10月1日 水	8:25		ホノルル空港　着		文化・英語・ コミュ・食
					入国手続き	現地ガイド	
			10:00	バス	ホノルル空港　発		
			10:30		ワイキキホテル　着		
			11:00		ミーティング　→　自主研修A　開始	グループ毎　昼食	
			15:00	徒歩	アウトリガーワイキキパラダイスH　チェックイン		
			16:00	徒歩	探索	全員で行動	
			18:00		夕食（全員で）	焼肉	
			20:00		反省会		
			21:00		就寝		
10月1日	水	10月2日 木			朝食	ホテル内	文化・言語 歴史・精神・文化 文化・英語 コミュ・食
			9:00	バス	ホテル　発		
			9:30		ビショップ博物館	フラ・ハワイ語講習・ 日本語ガイド・ランチ付	
					フラ体験、昼食（サンドイッチ・水）、自由見学		
			14:00		博物館　発		
			14:30	徒歩	ホテル着　自主研修B　発	グループ毎　行動	
			19:00		ホテル着　夕食（ハウスオブウォン）	ホテル内or近隣	
			20:00		反省会		
			21:00		就寝		
10月2日	木	10月3日 金			朝食	ホテル内	アロハ精神 先住民交流 ポリネシア島々 歴史・伝統 言語・文化
			8:00	バス	ホテル発		
			8:45		カイルア高校　着	交流事業	
			9:00		アイヌ文化中心にプレゼン		
					交流事業（ランチ）		
			14:00		カイルア高校　発		
			15:00		ポリネシア・カルチャー・センター　着	ガイド・夕食バイキン グ・ショー付	
					見学・体験・夕食・ショー		
			20:30		ポリネシア・カルチャー・センター　専用車　発		
			21:30		ホテル　着	平取町チャーター・バス	
			22:00		反省会		
			23:00		就寝		
10月3日	金	10月4日 土			朝食	ホテル内	社会性 マナー 実体験 ルール
			7:45	バス	ホテル　発		
			8:30		ホノルル空港　着		
					出国手続き		
			11:35	ANA	ホノルル空港　発	機内食	
			14:50		成田空港　着		
					出国手続き		
			17:50	ANA	羽田空港　発		
			19:35	バス	新千歳空港　着		
			20:30	バス	新千歳空港　発		
			21:30		平取町　着		

研修	ビショッピ博物館	フラ・ハワイ語講習・日本語ガイド
	PCC	見学・体験・日本語ガイド
食事	朝食	3回　ホテル内（全員）
	昼食	1日目：各自　2日目：博物館　3日目：高校
	夕食	1日目：焼肉　2日目：中華　3日目：バイキング



メリット　専門性のある指導者の確保　　指導者の負担軽減　　部員の確保と活動の充実

デメリット　移動による時間的、経済的な負担の増加　特定の指導者負担が増える可能性


教育委員会
・クラブへの指導連携
・補助金等の支援
支援
(事業委託)
平取町地域クラブ
コーディネーター（事務局）
謝礼
指導者
地域人材
人材の確保（委員会等）
随時
学校教員
兼務兼業（希望者）
委員会が許可
連携
中学校
・指導者との連携
・中体連業務
・大会運営
・教員派遣
地域クラブ
野球・バドミントン・卓球・バスケットボール・
剣道・柔道・吹奏楽 など
連携
クラブ指導
連携・協力
保護者
連携
スポーツ協会
文化協会
情報共有
人的連携
合同練習
小学生少年団
各少年団
野球・柔道・剣道・バドミントン など
連携
活動
他町クラブ団体

資料２

令和6年度　町の決算状況について

令和7年度　平取町総合教育会議資料

歳入の決算額と構成比及び伸長状況

（単位:千円）

款　別　＼　年　度	令和6年度 収入済額 A	令和6年度 決算額構成比	令和5年度 収入済額 B	令和5年度 決算額構成比	比較 収入済額 (A－B)C	比較 伸率 C/B %	前年度との比較(単位:百万円)
1. 町税	527,773	6.9	503,321	7.2	24,452	4.9	個人町民税35、固定資産税△10
2. 地方譲与税	119,557	1.6	106,199	1.5	13,358	12.6	
3. 利子割交付金	278	0.0	211	0.0	67	31.8	
4. 配当割交付金	2,647	0.0	1,960	0.0	687	35.1	
5. 株式等譲渡所得割交付金	4,067	0.1	2,258	0.0	1,809	80.1	
6. 地方消費税交付金	127,784	1.7	124,963	1.8	2,821	2.3	
7. ゴルフ場利用税交付金	3,063	0.0	3,425	0.1	△ 362	△ 10.6	
8. 交通安全対策交付金	0	—	492	0.0	△ 492	—	
9. 地方特例交付金	22,354	0.3	2,605	0.0	19,749	758.1	
10. 地方交付税	3,626,674	47.7	3,473,047	49.9	153,627	4.4	普通交付税154
11. 法人事業税交付金	9,680	0.1	8,838	0.1	842	9.5	
12. 環境性能割交付金	7,834	0.1	7,858	0.1	△ 24	△ 0.3	
13. 分担金及び負担金	6,261	0.1	6,971	0.1	△ 710	△ 10.2	
14. 使用料及び手数料	137,515	1.8	139,894	2.0	△ 2,379	△ 1.7	
15. 国庫支出金	1,065,761	14.0	902,207	13.0	163,554	18.1	アイヌ政策推進交付金197、物価高騰対応臨時交付金16、新型コロナ交付金△57
16. 道支出金	628,873	8.3	473,453	6.8	155,420	32.8	過年発生災害復旧費補助金175、、畑地化協力金△59
17. 財産収入	62,415	0.8	60,066	0.9	2,349	3.9	
18. 寄附金	299,594	3.9	149,215	2.2	150,379	100.8	
19. 繰入金	0	—	275,734	4.0	△ 275,734	—	
20. 繰越金	88,786	1.2	78,124	1.1	10,662	13.6	
21. 諸収入	234,060	3.1	226,934	3.3	7,126	3.1	
22. 町債	631,022	8.3	408,698	5.9	222,324	54.4	
歳入合計	7,605,998	100.0	6,956,473	100.0	649,525	9.3	

目的別歳出決算状況　　（単位：千円）

年度／款別	令和6年度 支出済額 A	令和6年度 構成比	令和5年度 支出済額 B	令和5年度 構成比	比較 支出済額 (A－B) C	比較 伸率 (C/B) %	前年度との比較(単位：百万円)
1 議会費	41,002	0.6	42,671	0.6	△ 1,669	△ 3.9	
2 総務費	1,712,612	22.8	1,683,501	24.5	29,111	1.7	人件費64、平取高校魅力化プロジェクト事業28、二風谷ｺﾀﾝ整備△40、ｾﾞﾛｶｰﾎﾞﾝ実行計画策定事業△13、ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ改修事業△10
3 民生費	1,442,108	19.2	1,137,059	16.6	305,049	26.8	児童手当17、保育給付費15、多目的機能型施設整備事業248、アイヌ工芸品制作機器購入事業16
4 衛生費	295,983	3.9	373,720	5.4	△ 77,737	△ 20.8	振内国道拡幅工事生活雑排水処理施設移設事業△69
5 農林水産業費	442,367	5.9	483,890	7.0	△ 41,523	△ 8.6	畑地化協力金△59、アイヌ農林漁業対策事業補助金19
6 商工費	531,902	7.1	348,653	5.1	183,249	52.6	ふるさと納税経費146
7 土木費	441,805	5.9	507,698	7.4	△ 65,893	△ 13.0	道路ストック点検修繕事業△40、公営住宅関連事業△23
8 消防費	317,867	4.2	249,820	3.6	68,047	27.2	消防自動車整備事業72、待機宿舎内部改修事業△4
9 教育費	533,702	7.1	519,638	7.6	14,064	2.7	学校施設空調及び暖房整備事業17、スクールバス購入事業11、教科書指導書購入事業△11
10 災害復旧費	303,621	4.1	107,964	1.6	195,657	181.2	過年発生農業施設災害復旧事業177
11 公債費	850,093	11.3	835,285	12.2	14,808	1.8	
12 諸支出金	591,222	7.9	577,788	8.4	13,434	2.3	
13 予備費		—		—	0	—	
歳出合計	7,504,284	100.0	6,867,687	100.0	636,597	9.3	

性質別歳出の状況　　（単位：千円）

区分		令和6年度 支出済額 A	令和6年度 構成比	令和5年度 支出済額 B	令和5年度 構成比	比較 支出済額 (A－B) C	比較 伸率 (C/B) %	前年度との比較(単位：百万円)
義務的経費	人件費	1,254,497	16.7	1,189,974	17.3	64,523	5.4	定期昇給や人事院勧告を受けての人件費増
	扶助費	507,196	6.8	506,915	7.4	281	0.1	
	公債費	850,093	11.3	835,285	12.2	14,808	1.8	
	計	2,611,786	34.8	2,532,174	36.9	79,612	3.1	
投資的経費		2,256,604	30.1	1,963,868	28.6	292,736	14.9	上記のとおり(主に多目的機能型施設整備事業248、過年発生農業施設災害復旧事業177)
その他の経費		2,635,894	35.1	2,371,645	34.5	264,249	11.1	ふるさと納税経費52、ふるさと寄付金の積立94、森林環境譲与税の積立19
歳出合計		7,504,284	100.0	6,867,687	100.0	636,597	9.3	

熊出没への学校対応について

【レベルⅠ】校区内での目撃情報

教育委員会：熊情報の連絡

学　　校：児童生徒・保護者に連絡

【レベルⅡ】通学路、通学路付近での目撃情報（Sバス経路除く）

教育委員会：熊情報の連絡、町と対応協議

学　　校：児童生徒・保護者に連絡

集団下校または保護者に送迎依頼

【レベルⅢ】校地内に出没での目撃情報

教育委員会：熊情報の連絡、町と対応協議

学　　校：児童生徒・保護者に連絡

臨時休校措置

【レベルⅣ】襲撃被害など、レベルⅢ以上の事態発生

教育委員会：熊情報の連絡、町と対応協議

学　　校：児童生徒・保護者に連絡

対応待ち

個別の状況により臨機応変な対応が必要となることを念頭に、あくまでも目安として活用してください。